

草加レザーと過ごす時間

～多世代にも地球にも愛されるブランドの誕生～

獨協大生×そうか革職人会

Soka Leather
No Limit No Border...



獨協大学経済学部 高安健一ゼミナール
SOKA LEATHER SAVOR



はじめに

私たちは獨協大学経済学部高安健一ゼミナールの
”SOKA LEATHER SAVOR”です。

高安ゼミではSDGs(国連の持続可能な開発目標)
に関連した社会課題を解決するために、
実践的な学びであるプロジェクト型課題解決学習(PBL)を行っています。
経済学部の3年生7名で構成されているSOKA LEATHER SAVORは
伝統産業の復興やものづくりに興味のあるメンバーで
このPBLに取り組んでいます。

私たちは2023年4月に埼玉県草加市のレザー産業が秘めている
潜在力やブランディングに着目しました。
そこで、草加レザーの代表組合の1つである「そうか革職人会」と
コラボし、新ブランドを設立しました。
草加レザーの認知度向上や多世代に愛されるブランドの形成
を目標として活動しています。

草加市の伝統産業である草加レザー産業は近年、残念ながら
職人の高齢化や認知度の低迷により衰退の一途をたどっています。
しかし、私たちはそうか革職人会のご支援を受けてプロジェクトに取り
組むうちに、多くの魅力に気づくことができました。そこで、大学生の
視点から情報を発信するなど、草加レザーに触れる機会を創出すること
で、皆さんにぜひその魅力をお伝えし、愛着を持っていただきたいと考
えています。

また、私たちの活動はSDGs17の目標のうち、12番「つくる責任、つかう
責任」や17番「パートナーシップで目標を達成しよう」などの
ゴール達成に貢献いたします。

この冊子を通して草加レザーが秘めている多くの魅力を
皆さんにお伝えできればと考えています。

一度手にすれば末永く使える革製品、ぜひこの機会に
「草加レザー」について興味・関心を持っていただければ幸いです。
SOKA LEATHER SAVOR一同

目次

はじめに

本革はエコでサステナブルな天然素材
草加レザーのサステナブルな取り組み

第1部 草加レザー探究…p.7

草加レザーの特徴

そうか革職人会

草加レザーの現状

SWOT分析

分析から見つかった課題・仮説

私たちのプロジェクト概要

第2部 新ブランド誕生の軌跡…p.17

UNISOLEとは

UNISOLEブランド商品製造の軌跡

新ブランド商品紹介と込めた想い

ブランド確立に向けた広報戦略

販売

プロモーション活動の成果

第3部 未来への提言…p.27

産官学と草加市民への提言

協力者からの講評と今後の展望

プロジェクトの成果と振り返り

おわりに

プロジェクトを終えて

謝辞

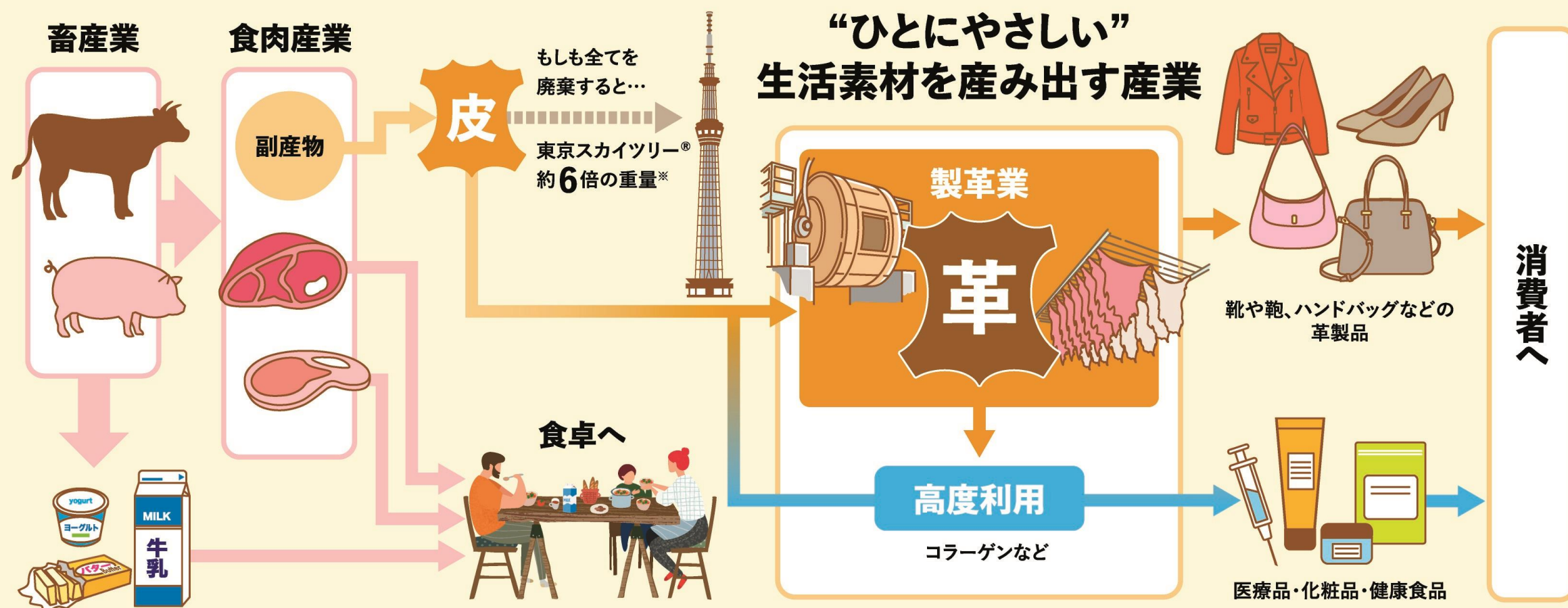
アクセス

参考文献

本革 畜産副産物

エコ サステナブル 天然素材

12 つくる責任
つかう責任



草加レザーのサステナブルな取り組み

ユーターン U-TaaaN PROJECT

害獣の皮の有効活用

埼玉県秩父市などでは、増えてしまった野生動物が農作物を食べてしまうといった害獣被害が発生しています。

その原因となっている動物(主にシカ)の皮を受け入れ
なめし[※]加工を請け負うという事業です。

公式サイト



害
獣
被
害
の
地
域

害獣の「皮」

※なめし：動物などの皮を加工に適した革にする工程

皮を革へ

革職人
(草加)

害獣のなめした「革」



河合産業株式会社
河合泉さん

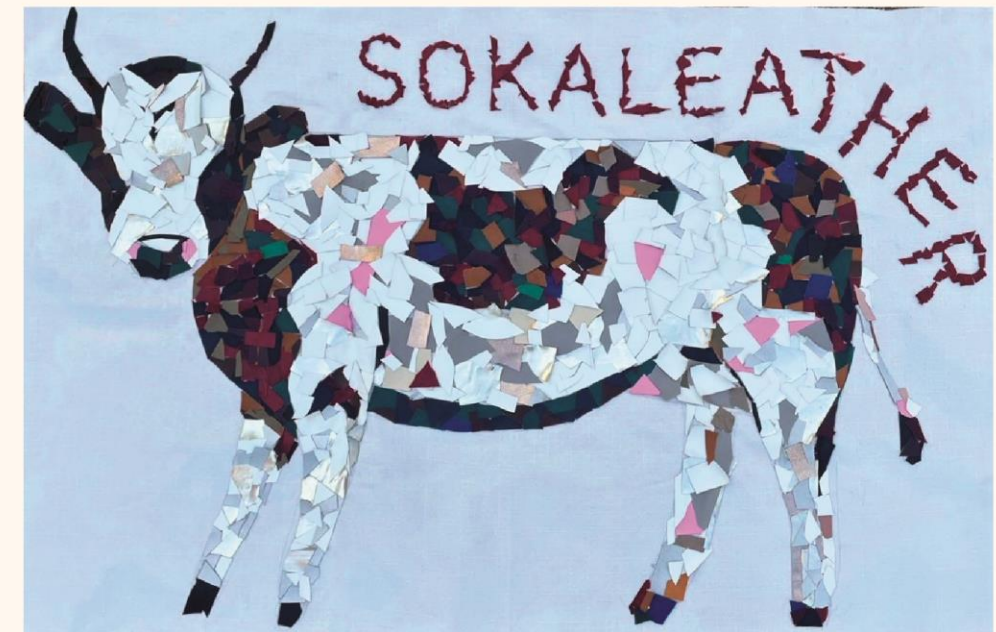
プロジェクトを先導する河合産業株式会社
河合泉さんコメント

三重大大学の生徒が鹿の問題に取り組むたいと
草加に足を運んで、勉強を進めてくれています。
草加が革を通した環境問題解決の橋渡しになればと思います。

河合産業株式会社

豚皮を食品、工業用に精製しています。
現在はメーカーに納入後、ゼラチンやコラーゲンとして、
化粧品、健康食品、医療用に
広く利用されています。

さすてなぎゅう



きっかけ

メンバーが製作過程でできた革の切れ端が
捨てられているのを見て、
少しでも端材を活用できないかと考えました。

制作

学園祭などのイベントで来場者に
貼ってもらうなど、草加市民が共同で制作
しました。

伝えたい思い

この「アート」を通して、草加の革がサステナブル
な素材であること。そして、部位や加工方法によっ
て、質感や色合いが異なる革の多様性を多くの人に
感じていただきたいです。

第1部 草加レザー探求

草加市の伝統産業

第1部では、
草加レザーとはどのような産業なのか、その魅力や
取り組みについて解説するとともに、産業が抱える
課題について、市場調査やSWOT分析などを用いて
迫っていきます。

草加レザーの特徴

草加は国内レザー産業の4大産地の一つであり、
日本で数少ない100年近くの歴史あるレザーの産地

草加レザーの主な特徴

- ①多くの動物の皮を取り扱っている
 - ②すべての工程の職人が揃っている
 - ③素材から製品までが草加市内で完結する
 - ④伝統産業である
- 行政・商工会議所との連携が強い



※
原皮調達

なめし工程

縫製

製品完成

なめしをはじめとした全30工程を行うのは多くの手間と時間がかかる。
その為、すべてを一貫して1つの地域で行う事の出来る草加は全国的に珍しい

※原皮：動物の生皮に防腐処理を施したもの

そうか革職人会

Noと言わないプロ集団

2002年8月に草加市に拠点を置く3団体、および市内のレザーに関わる事業者や職人の約3割が加盟して発足した団体です。

草加レザーフェスタ

手づくりクラフト体験コーナーなどを実施しています。多くの人に楽しんでもらいながら、「草加の革」に触れてもらう機会を設置しています。

ダイレクトセール

市内の革製品事業者が一堂に会しての特別販売会。大特価での販売や福引なども実施しています。

革の出張講座

市内の小学校へ「レザー」についての出張講座を行っています。

公式サイト



これらの活動が**認知度向上**に繋がる！

そうかわ塾

革についての勉強会

そうかわ塾（草加皮革職人塾）は、草加商工会議所が主催している取り組みです。革職人になりたい人や革にまつわる業種で独立・開業したい人を募り、各方面のプロがレクチャーを行う勉強会です。



Dress Leather
島村千佳子さん

独立を考えていた島村さん。過去のアパレルの経験×クラフトの技術で、自分にしかないものを作れるのでは、という直感からそうかわ塾に応募。3年間のカリキュラム受講後、自身の革工房「Dress Leather」をスタートしました。

レザーワンピース



異素材mixペンケース



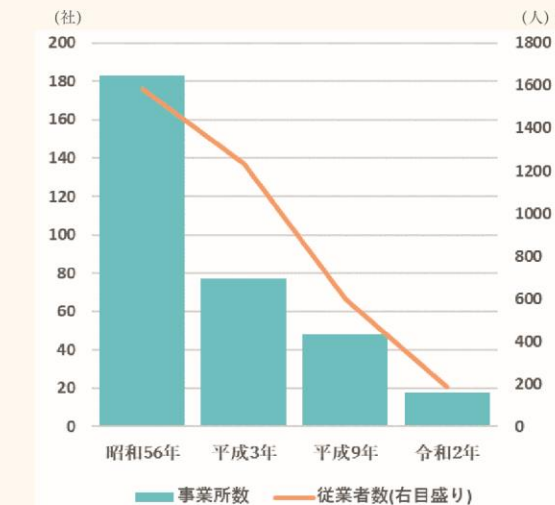
リッチフリルレザー巾着

紹介ページ

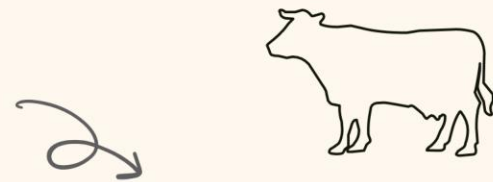


草加レザーの現状

皮革関連業 事業所・従業者数推移

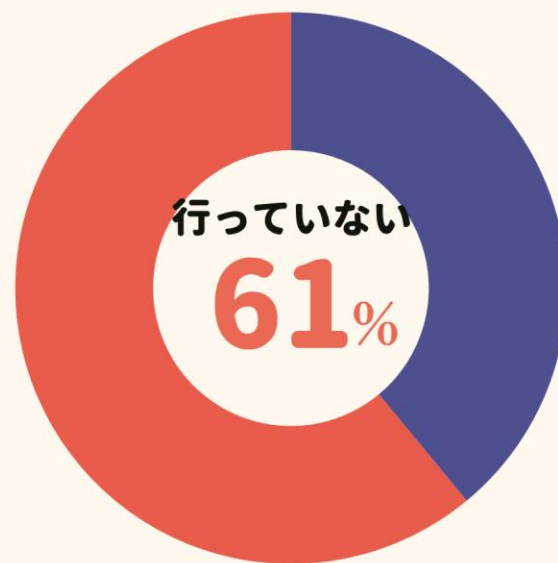


資料：草加市史編さん委員会(2001.3)『草加市史(通史編下巻)』、『草加市統計書(令和2年版)』『4.4.1 工場の推移及び概況』を基に著者作成
(注) 従業者が4人以上の事業所の数値である。



草加レザー業界は、バブル崩壊の平成3年以後
従業者数、事業所数ともに減少の一途を
辿っています。
加えて、**職人の高齢化及び若手不足**により
時代に合ったデザイン・商品開発、
宣伝・普及方法を明確に
見出せないままです。

ネット販売・PR展開率



資料：令和4年度製革業実態調査報告書を基に著者作成
(注) 埼玉県内の製革業者を対象とした統計。

そうか革職人のSNS運用率は、
全体的に行き詰まっている模様です。

運営者が少ないこと、
SNSまたはインターネットを器用に
扱える人材が少ないことが
普及率が低迷している原因の1つとも
いえます。

現在、販売常設店は草加市文化会館伝統産業
展示室「ぱりっせ」のみであり、
対面で購入できる場所も限られています。

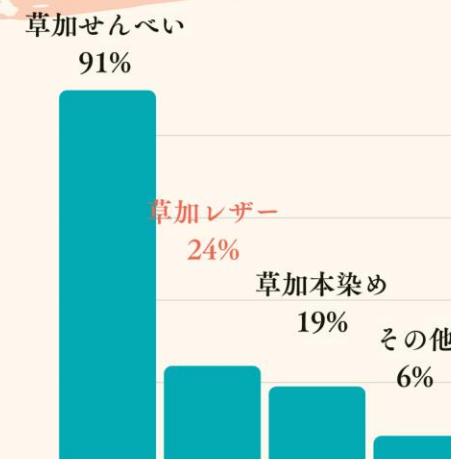
ネット販売も行っているようですが、実際に
は管理が難しく、継続した運用には至ってい
ないようです…。

アンケート調査結果

私たちは、草加レザーがどれほど知られているのか、
どのように取り組めば魅力を知ってもらえるのか
について独自にアンケート調査をしました。(n=424)

場所：獨協大学&SNS、
草加マルイ
実施期間：2023年7月・8月

Q.「草加市の伝統産業」といえば何を思い浮かべますか？(複数回答可)



「草加市の伝統産業」について問うと、
回答者(424人)のうち、91%の方が
「草加せんべいである」と答えました。

一方、「草加レザー」を挙げたのは、
回答者の**24%**でした。
若者に限ると7%にとどまりました。

Q.草加レザーが未来に受け継がれていく産業になるために
どのような改善が必要だと思いますか？(複数回答可)

また、草加レザーの改善点を問いかけた
ところ「**知名度・ブランド力向上**」と
答えた方は**全体の半数以上**でした。
さらに、草加レザーを知っていても、
魅力を感じている人は少なく
伝統産業としての理解が広まっていない
ことも分かりました。

知名度・ブランド力の向上
63%

販路拡大 **19%**

商品の品質向上 **10%**

SWOT分析

市場調査や関係各所へのヒアリングの結果、
草加レザーの現状が見えてきました。

そこで、現状を整理・改善点を見つけ、
それを解決するマーケティング戦略を打ち立てます。

今回はSWOT分析を利用しました。

SWOT分析とは、自社の強み（S） 自社の弱み（W）
外的プラス要因＝機会（O） 外的マイナス要因＝脅威（T）
をそれぞれ書き出し、自社の現状を把握する分析手法です。



※OEM：メーカーが自社ではないブランドの製品を製造すること。相手先ブランド生産とも。

※合皮：合成皮革の略称で、動物の皮が原料に一切使われていない人工素材

分析から見つかった課題・仮説

1.認知度の低さ

SNS・ネット戦略に改善の余地があることや
OEMに偏重していることによる販路の狭さが原因で
草加のブランドが目に触れる機会が少なく、
世間からの認知度が著しく低い。
⇒ **SNSへの注力や販路の拡大**が必要。

2.OEMへの依存

個々の企業・事業者の多くがOEMへ依存。
草加レザーとしてのブランド商品が少ない。
⇒ OEMから脱却するために
オリジナルブランドの開発と展開が求められる。

3.商品デザインの行き詰まり

高品質の製品を製作する諸資源を
持っているものの、
デザインが時代の主流に追いつけていない印象。
⇒ **多世代に永く愛されるデザインに！**

私たちのプロジェクト概要 (2023年)

SWOT分析の結果、3つの課題・仮説を立てることができました。
そこで、これらの仮説を検証し課題を解決するために、
以下の6つのステップでプロジェクトを進めました。



第2部 新ブランド誕生の軌跡

獨協大生 × そうか革職人会

第2部では新ブランド誕生の経緯やコンセプト、商品の制作過程、私たちの込めたこだわりなどを説明していきます。また、実践した広報戦略や販売についても紹介します。

まず、草加レザーの認知度を広げるために
私たちは、そうか革職人会と
新しいブランドを立ち上げました。

ユニソレ 『UNISOLE』 (UNI SOKA LEATHER)

UNISOLEは、「**U**nique（個性的な）」「**U**nisex（男女兼用）」
「**U**ni-age（多世代兼用）」の3つのコンセプトを掲げています。

Unique

現代的なデザインを取り入れた個性的な商品

Unisex

性別問わず使用できるデザインやサイズ

Uni-age

子供から大人まで、幅広い世代が使えるデザイン

私たちはUNISOLEの商品を通して、年齢や性別にとらわれず、
「自分に合ったものを選択できるより生きやすい社会へ」
の実現を目指します。

ブランドロゴ

※このブランドは私たちのプロジェクト活動終了後、
そうか革職人会に引き継がれます。
また、2023年11月27日現在、商標登録申請中です。



UNISOLEブランド商品製造の軌跡

～デザインから商品化まで～



1.デザイン決め

職人の方々より、デザインの行き詰まりに直面していると伺いました。学生視点の新鮮なアイデアの考案や、実際に店舗に足を運び人気の商品やトレンドをリサーチする等工夫を重ねてデザインを考案しました。



2.配色選び

みなさんが革製品でよく目にする色味は何色でしょうか？草加では黒や茶以外にも幅広い色味を取り扱っています。草加レザーの豊富なカラーバリエーションを多くの人に知ってもらう為、1枚1枚生地から私達で選びました！



3.技術指導

ニスを塗ることで革の裁断面を保護するコバ塗りや、縫製や組み立ての際にあたりを付けるための糊付けなど、学生が携われる範囲で指導していただき、作業を行いました。繊細な作業ばかりで大変でした…。



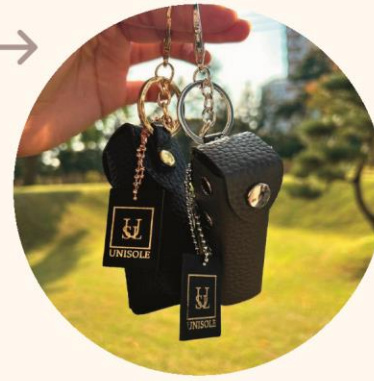
4.型抜き

実際に職人が使用している機械をお借りして、商品のベースとなる部分については1つ1つ自分達の手で型抜きをしました。大中小の型を上手く組み合わせることで、隙間の面積を減らし、1枚の革を無駄なく利用できるよう意識しました！



5.組み立て

トンカチや穴あけポンチなどを使って、金具を取り付けました。この作業に意外と苦戦しました…！一筋縄ではいかず、アドバイスをいただきながら少しずつ行いました。また、縫製は繊細な作業であるため職人に仕立てていただきました！



6.商品完成

このように商品が出来上がるまでには、多くの工程が必要であり、本革を扱う難しさを体感しました。また、職人の方々の技術力の高さを改めて実感しました。私達が心を込めて作った製品を、是非お手にとって頂けたら幸いです！

新ブランド商品紹介と込めた思い

ユニケース



学生ブランド「UNISOLE」
のロゴ付き！

～商品名に込めた思い～

商品名にはユニセックス（男女兼用）
ユニバーサル（全ての人に向けて）
の意味が込められており、性別問わず多くの
世代の方々に手に取ってもらいたいという想
いから「ユニケース」と名付けました。
シックなデザインで馴染みやすくすることに
こだわりました。

リップや判子、有線イヤホンなど
の小物を入れられてすぐに取り出
すことができます！

マルチケース



若者から大人まで、幅広い
世代にご利用いただける、
シンプルでモダンなデザイ
ンです。小銭やカード、イ
ヤリング等、必要な物をコ
ンパクトに収納できます。

サコッシュ



草加レザーの特徴であるカ
ラーバリエーション豊富な
本革をより多くの人に知っ
てもらいたいという思いか
ら、1点ずつ色の組み合わ
せを私達で考えました！

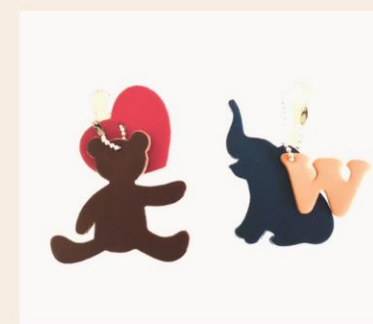
レザーフラワー

廃棄される革を利用して、何かできないかと
試行錯誤してできた商品です！✨
草加の革は、カラーバリエーションが豊富で
デザインに限りはありません！
経年変化を身近に感じられる新しい楽しみ方
を是非お手元に♡一生枯れることのない花を
プレゼントにいかがですか？



12 つくる責任
つかう責任

キーホルダー



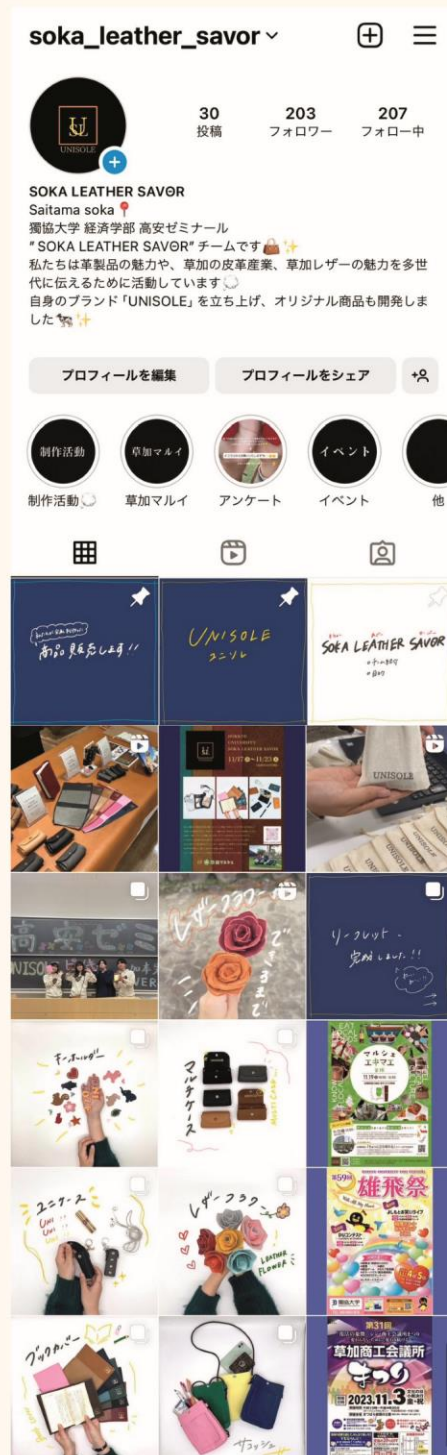
質の良い本革を余すこと
なく利用したいという想
いから切れ端の廃材を利
用して作りました！

ブックカバー



手触りの良い革や様々な
色合いの革など生地から
こだわって選びました！
自分の好きなカラーで一
緒に読書を楽しみませ
んか(^^♪

ブランド確立に向けた広報戦略



Instagram

インスタ開設の目的

若い年代の人にもっと草加レザーの魅力や特徴を発信し、認知度の向上に繋げたい。

広報する上でのこだわり

草加レザーについての知識が分かりやすく伝わるように図などを利用し、工夫して作成しました。

主な投稿内容↓

イベント告知

私たちが出店するイベントの内容や商品の金額などの詳細を掲載しました。

商品紹介

商品に込めた想いや、メンバーのオススメポイント、用途などの情報を掲載しました。

Instagram→
アカウント



@SOKA_LEATHER_SAVOR

リーフレット作成



製作過程



リーフレット作成の目的と配布先

お客様に、学生ブランド立ち上げとその商品の魅力について分かりやすく伝え、認知度向上、そして購買行動に繋げることです。
雄飛祭（学園祭）・草加商工会議所まつり・草加マルイでの販売で配布しました。

対外発信

『東京新聞』2023年11月22日付記事掲載
『東武よみうり新聞』2023年11月27日付記事掲載
エコプロ2023出展

販売

お客様に実際に商品をお手に取ってもらう機会を設けました！

at まつばら綾瀬川公園



(2023年)
11/3 草加商工会議所まつり

モノづくりダイレクトセール
として20%OFF!
毎年お祭りがあるのでぜひ!

in 獨協大学



11/4,5 雄飛祭

谷塚駅西口前にて♪
たくさんの方に
お手に取っていただきました!



11/17~23 草加マルイ

1階イートインスペースにて
7日間販売しました!



11/19 マルシェ エキマエ
谷塚

プロモーション活動の成果

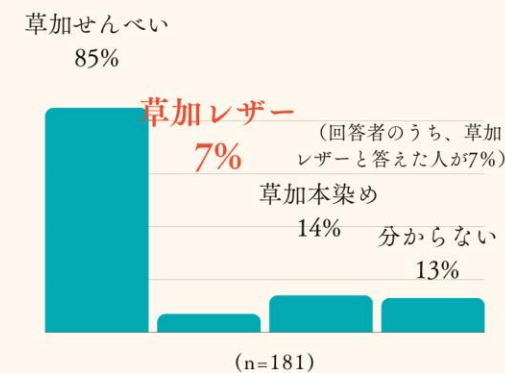
SNS活用によって、若者を中心に草加レザーを認知していただきました。また、11日間の販売では、合計300点以上の製品をご購入いただき、リーフレットも700部以上配布することができました。

その結果、私たちが立ち上げたブランド『UNISOLE』を認知するとともに、草加レザーの魅力を知ることができる機会を創出することができました。

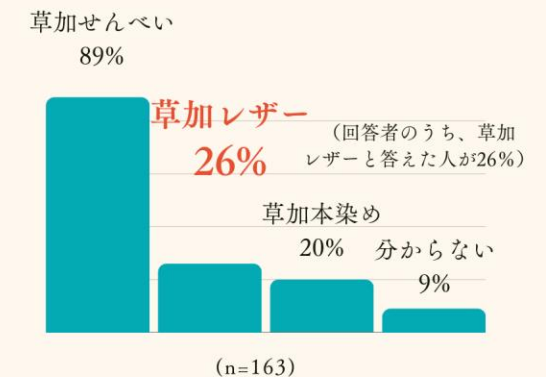
認知度調査アンケート結果の変化[※]

Q.「草加市の伝統産業」といえば何を思い浮かべますか? (複数回答可)

活動前アンケート
(7,8月)



活動後アンケート
(11月)



19%UP

結果として、草加レザーの認知度が向上!!

※両アンケートとも獨協大学、及びSNSにて実施・集計

第3部 未来への提言

産官学と草加市民の更なる連携

第3部では、今後の草加レザー業界の発展に向けて、私たちがプロジェクト活動を通して感じたことをもとに産官学民それぞれが取るべき行動について、提言を行っていきます。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナリープで目標を達成しよう



そうか革職人会

幅広い世代の人に草加レザーを知ってもらい、購入してもらうためには、SNSやウェブサイトに注力！

SNS

SNSを有効活用し、消費者にアプローチする
→製作過程を丁寧に掲載することで、商品の価値や魅力を伝える。
私たちのSNSで草加レザーの魅力や製品の製作過程などを丁寧に発信した結果、興味を持って買いに来てくださったお客様が学園祭での販売で特に多くいらっしゃいました。

ウェブサイト

ブランド全体で1つの販売ページがある状態にする
→草加には複数のブランドがありますが、個々のブランドで販売ページを運営しているため、消費者にとって見づらくなっています。そのため、ブランド全体で1つの販売ページを作成することで、アクセス数を向上させ、購入につながると考えられます。

今後のブランディング『UNISOLE』

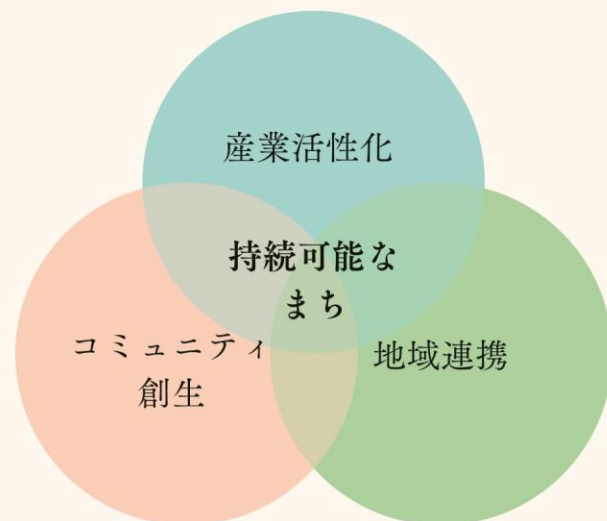
- ・環境や社会に配慮した商品展開
→近年、環境問題や社会問題への関心が高まっています。実際、私たちが商品開発したレザーフラワーやユニケースは好評でした。
- ・現代的なデザインを取り入れる
→トレンドを取り入れたデザインで若者市場の開拓に繋げ、持続可能な発展を目指します。

市役所

伝統産業が3つもある自治体は珍しく、
市民も関心を持っています。
また、伝統産業への愛着度は
草加市への愛着度向上へと繋がります。
さらに伝統産業の存続、コミュニティ創生は
地域活性化に大きく貢献します。
よって、伝統産業の維持を図るために
伝統産業の分析、普及、育成等、
包括的にアプローチすることが重要です。

《三大伝統産業の育成に関する長期的なビジョン構築》

- ・若手の職人・従業員が減り、高齢化が進んでいるのが現状の為
分析や検証をした上で活性化に向けた計画の立案
- ・市のホームページに掲載されている伝統産業に関する情報が
少ない印象の為、ホームページから伝統産業に触れる機会を
創出できるよう積極的な情報発信



伝統産業があるまちは、左図の
ように3つの柱によって
支えられ、住みやすいまちへと
発展していきます。
持続可能なまちを目指すには
産業活性化に向けた施策が
必要不可欠です。

大学

獨協大学に通う学生に伝統産業に触れる機会を提供し
若者への認知度向上と伝統産業の活性化を図るため、
以下の取り組みを提言します。

- ・獨協大学やコミュニティスクエア、TOBU icourtでの
定期的な販売の実施・サポート
- ・全カリの時間に草加の3大産業について講義
- ・父母の会や同窓会で、オリジナルブランドをノベルティグッズ
として配布
- ・獨協大学創立60周年を記念したオリジナルブランド商品を
大学で販売

草加市民



草加の伝統産業であるレザー産業は、消費者に合皮ではなく
草加レザー（本革）製品を選んでいただくことで、
持続可能な産業として成立します。
ぜひ、ぱりっせに足を運び、草加レザーの魅力を
体感してください。

協力者からの講評と今後の展望



伊藤達雄さん
伊藤産業株式会社

そうか革職人會會長

Soka Leather

学生▽今回学生とコラボしたことによって得られた新しい発想や発見はありましたか？

伊藤▽今回、獨協大学の学生さんとコラボしたことによって貴重な経験をさせて頂きました。そこからは、若者の視点から出たアイデアやデザインが十分に革製品作りに活用出来る事が分かりましたし、若い世代の人達にも革製品の魅力を伝える事が出来る事が分かりました。

学生▽今後の革職人會がどうなっていくってほしいと考えていますか？

伊藤▽革職人會がレザー産業を通じて地域の教育と文化を促進するプログラムを開発し、地域社会に貢献する団体としても活動していきたいです。また若い職人が伝統技術を継承し、新たな世代に伝える場所としての役割を果たしていきたいと考えています。



Soka Leather



富田典明さん
株式会社フィリカ

株式会社フィリカ代表

Soka Leather

谷塚にある工場で、私たちの商品開発に親身に寄り添ってくださった富田さんにお話を伺いました。

学生▽今回、学生とコラボしたことによって得られた新しい発想や発見はありましたか？

富田▽今回、学生さんとコラボするにあたり当初は「どうすればいいのだろう」と正直、戸惑いがありました。

年齢や立場上、自分たちが持っている知識や経験、技術などを「教える」「伝える」という意識になりかねず、一方通行なコミュニケーションになってしまわないかと心配していました。しかし、若い人ならではの発想の奇抜さ、純粋さ、柔軟さは、驚きと感心の連続でした。何度も試行錯誤しながら作業と対話を重ねていくうちに、様々なアイデアが浮かび、それが一つ一つの具体的な形になっていきました。そうした中で誕生した、若者向けの草加オリジナルブランドの「UNISOLE」は、たぐさんの思いが詰まった、その集大成であると思います。「新しいものを生み出していく力」というのは、単に年齢が若いからというのではなく、それに対する熱意と、妥協のない努力、そしてものごとを真剣に向き合う誠実さの中から培われていくのだということを、皆さんの姿を通して改めて学ばせてもらいました。

学生▽今回のプロジェクトを通して、草加レザーの今後の展望についてどうお考えですか？

富田▽まずは、市内外においての認知度のさらなる向上や、レザーの素材だけでなく、多種多様な職人により製品加工までを一貫して対応できる草加の強みを生かし、レザーの持つ可能性と未来性を、様々な角度から追求していきたいと考えています。具体的には、草加レザーのオリジナル性の向上、様々な世代に特化したブランドづくり、特徴的な特産品をもつ他地域との交流、異素材とのコラボなどですが、今回のプロジェクトは、そのうちの「様々な世代に特化したブランドづくり」の一環として、大きな起点になると思います。草加にある獨協大学の学生によって生まれた、若者のためのブランド「UNISOLE」。まずは、これをしっかりと育てて、草加レザーの発信力を強めていきたいと思っています。

学生▽今後のレザー産業を含めた草加の伝統産業がどうなっていくってほしいと考えていますか？

富田▽いかなる発展も功績もそのままにしてあげれば単なる歴史や記録になってしまいます。さらに、現状に甘んじていけば何の進歩もなくむしろ後退の勢いが強くなっていくと思います。草加といえば「草加せんべい」であり、「レザー」が草加市の伝統産業であるというのは、当市に草のタンナーが五十社以上あった時代から比べると、その著しい衰退を経て、二〇二〇年ころには殆どの人知らないという状態になっていました。それから約二十年、行政、商工会議所の方々にも全面的に支援を頂きながら、まずは地元草加市から、もう一度その知名度を上げていこうという思いで、皆で結束し、地道に着実に活動が続けてきました。その結果、認知度は着実に向上していると感じています。

やはり大事なのは、どこまでも攻めていく姿勢なんだということを実感しています。

Soka Leather

プロジェクトの成果と振り返り

▶成果

今回、若者視点から商品開発やSNS運営を行ったことにより、若者からの認知度を一定数向上させることができました。
また、立ち上げた新ブランドUNISOLEは、私たちの活動終了後に革職人会が引き継ぎ活用していきます。**業界に永続的に残るもの**を創ることができたという意味では、私たちの活動は伝統産業活性化の一助になったと考えています。

▶振り返り

今回のプロジェクト活動を通して、U-TaaaN PROJECTなどの活動を通じた革のサステナビリティさや、草加レザーの魅力を強く実感することができました。

また、職人の方々の想いやそうか革職人会の方々の団結力に触れたことで、伝統産業に対する熱い想いをもっと多くの方々に伝えたいと考えるようになりました。

しかし草加レザー産業はまだまだ若者を中心に認知度が低く、持続的に発展していくためにはさらなる認知度向上が必要です。そのため、今後は自分たちが設立したブランドを革職人会や後輩に引き継ぎ、若者をはじめとした幅広い世代に草加レザーの魅力を発信し、持続可能な産業の確立を目指します。

おわりに

『草加レザーと過ごす時間
～多世代にも地球にも愛されるブランドの誕生～』を
読んでいただきありがとうございました。

草加市の伝統産業である草加レザー。
今日初めて知った方も多くいらっしゃると思います。
しかし、草加レザーにはたくさんの魅力があり
持続可能な産業であることを
この冊子を通して認識していただけたのではないのでしょうか。

今回の冊子を読んだことをきっかけに、皆さんの中に
「草加市の伝統産業といえば草加レザー」
といった想いが芽生えてきたのなら光栄です。

今回のプロジェクト活動を通して、そうか革職人会と
パートナーシップを結び、新ブランド
『UNISOLE』を立ち上げたことは
私たちにとって非常に貴重な経験となりました。

草加レザーの魅力に気づいた皆さんは
ぜひ実際に触れてみてください。
草加市文化会館内にある「ぱりっせ」では
草加レザーを使った様々な製品が販売されています。
ぜひ一度、実際に本革の質感や風合いを確かめて
その魅力を体感してください。

SOKA LEATHER SAVOR一同

プロジェクトを終えて ～メンバーの感想～

産業の文献調査・関係者ヒアリングに始まり、市場調査、ブランド立ち上げ、商品開発、広告宣伝、売場づくり、販売、さらにはSDGs的アプローチなど、いち学生では考えられないほど多くのことに挑戦できたプロジェクト活動でした。ここまでの挑戦ができたのは関係者の皆様の多大なる支えがあったからだと思切に感じております。本当にありがとうございました。

小松衛

今回、サステナブルである革製品の魅力や伝統産業の魅力をより多くの人に知って頂きたいという想いで活動に取り組みました。ブランド設立から商品開発、販売まで学生の枠を超えた様々な経験をさせて頂き、支えてくださった関係者の方々やメンバーに心から感謝しています。本当にありがとうございました。

安藤清楓

商品開発や販売など、初めての経験ばかりで毎日がとても新鮮で輝いていました。ご支援いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました！

赤崎遥

活動を始めた当初は、自分達でブランドを立ち上げるなんて夢にも思っていませんでした。これが実現できたのもそうか革職人会の方々のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。私達の立ち上げたブランドが草加レザーの魅力を多くの方に知ってもらえるきっかけとなり、草加市の伝統産業として残り続けることを願います。

小林祐輝

自分たちで1から企画、提案、製品化した過程や販売、広報をした経験から地域との関わりや人の温かさを知ることができました。また、自分の自信に繋がりました。ありがとうございました。

葛原莉杏

活動を通して、全てが自己成長に繋がる貴重な経験となりました。他では味わえない取り組み、提案が実現できたのも、皆様方のお力添えのおかげです。本当にありがとうございました。

小林明日香

職人の方やメンバーはもちろん、多くの方々と沢山のミーティングを重ねて新鮮でとても貴重な経験をする事ができました。自分が草加レザーに関わる事ができたことを誇らしく思います。また、関わってくださった方々に感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

利柳下実柚

謝辞

本冊子の作成にあたり、ご協力及び
ご助言をいただきました
皆様に心より感謝申し上げます。

そうか革職人会
株式会社フィリカ

河合産業株式会社
Dress Leather
株式会社ラ・ジョイア
草加マルイ

草加 LOCAL STORY
草加市役所の皆様
獨協大学経済学部
獨協大学教職員の皆様
高安ゼミ生

アンケートに回答して下さった皆様

伊藤達雄 様
富田典明 様
広子 様
河合泉 様
島村千佳子 様
和田善治 様
川瀬啓之 様
小松宣洋 様
村上翔央 様
安保幸子 様

高安健一教授

アクセス

草加市伝統産業展示室売店ぱりっせ

〒340-0013

草加市草加市松江1-1-5

草加市文化会館コミュニティー棟1階

TEL 048-931-1970

営業時間 10:00～17:00

獨協大学前〈草加松原〉駅東口より徒歩5分



ぱりっせ公式
ホームページ



獨協大学

〒340-0042

埼玉県草加市学園町1-1

参考文献

- 1) 一般社団法人日本タンナーズ協会 (2022)『本革PRチラシ』
- 2) 一般社団法人日本皮革産業連合会 (2023)『実は、革ってサステナブル。』
- 3) 一般社団法人日本皮革産業連合会 (2023)『令和4年度製革業実態調査報告書』
<https://tcj.jibasan.or.jp/webadmin/wp-content/uploads/2023/04/令和4年度製革業実態調査報告書.pdf>
- 4) そうか革職人会 (2023)『草加レザーの革力』
- 5) 草加市史編さん委員会/編集 (2001.3)『草加市史 通史編下巻』草加市
- 6) 草加市役所 (2020)『草加市統計書』
- 7) 草加商工会議所 (2021)『そうか革職人会』
- 8) 草加商工会議所 (2021)『Dress Leather 島村 千佳子さん - 革 / 命 - 』
<https://www.rlc-s.jp/content6/>
- 9) 西村祐子 (2023)『皮革とブランド——変化するファッション倫理』岩波書店
- 10) 羽田康祐k_bird (2020)『ブランディングの教科書 ブランド戦略の理論と実践がこれ一冊でわかる』NextPublishing Authors Press
- 11) LEATHER TOWN SOKA Project team 事務局 (2019)『U-taan leather | SOKA LEATHER』
<https://soka-leather.jp/projects/u-taan-leather/>

著 者：獨協大学 経済学部 高安健一ゼミナール

SOKA LEATHER SAVOR

発行日：2023年11月27日

E-mail：sangyou.dokkyo@gmail.com

住 所：獨協大学 埼玉県草加市学園町1-1

※無断転載禁止